

# 踏み跡 < My mountains >

丹沢	新茅ノ沢遊行(三ノ塔を経て戸川へ)	No.106
----	-------------------	--------

昭和43年4月7日

丹沢、あれほどに人の集まる丹沢でも、ちょっと時間帯をずらせば電車もバスも混まずに楽チン。

新宿発9時35分。石関、阿部が同行メンバー。

渋沢に着くと10時30分、もうハイカーはいない。バスには大分時間がありそうなので、同じ電車を利用してきた二名とワリカンタクシーで大倉まで入る。(260円/人)

大倉11時08分、新宿を出たのが遅かったので、ここまで来るともう昼が近い。水無川林道を歩くうちに正午を過ぎてしまい、新茅の沢出合いに12時15分に到着。小さな橋の下で昼食。しかも充分すぎるほどに時間をかけて、13時20分まで。

新茅の沢は水無川の沢の中ではモミソ沢と並んで初心者向きと言われているだけに、さほど難しくはない。新茅の大滝と呼ばれる滝が一番大きな滝だが、これとてさほどの苦勞はせずに過ぎ、一時間半ほどで表尾根に飛び出してしまった。烏尾山(1136m)15時、前方がふさがっている沢登りよりも開放感のある稜線の

ほうがやはり気持ちが良い。30分間遠望を楽しみ休憩。

枯れ草の中に胸を張って出てきた緑の若芽の中を歩いて三ノ塔(1205.2m)通過は16時。

三ノ塔尾根を下って秦野盆地の末端の戸川に着くと、もうあたりは真っ暗な18時50分。丹沢も表尾根だと交通の便が良いので、こんな時間まで歩いていても帰るのが遅くならなくて良い。

19時03分のバスで渋沢に出て、19時48分の電車で帰宅した。

沢では水の音、尾根では木々の芽吹き、麓の緑、四月の山としては申し分のない組み合わせだ。

鶯にヒバリも加わって充分すぎる風情の一日だった。

以上

(修正・更新:2023年12月)

